

「市長記者会見」の概要

■日時 令和4年9月26日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、読売新聞、長野市民新聞

■質疑応答

【10月からの上山田戸倉出張所の業務の拡大について】

問 上山田戸倉出張所の来訪者数はどのくらいか。

回答 1日平均15人程度。

問 業務拡大の目的とこれまでの経緯は。

回答 これまでの経緯は、合併当初は分庁舎方式として各担当部署が配置され、上山田庁舎には市民窓口課もあったが、新庁舎の建設に伴い統廃合となった。しかし、上山田地域、特に力石地区や新山地区の皆さんから、上山田庁舎を復活させてほしいとの要望が多く寄せられ、利便性の向上と地域の皆さんの安心感の醸成のため、昨年4月に出張所として開設した。

業務拡大の目的は、例えばこれまでは戸籍や住民票などの証明書を取得できても、戸籍の届出や住民異動届の手続きが出張所ではできないなど、不便を感じる方が多くいたことから、出張所での手続きができるよう業務を拡大した。併せて、本庁舎の担当部署と直接つながるオンライン窓口を設置することにより更なる利便性向上を図るもの。

問 分庁舎（支所）とすべきでは。

回答 オンラインで本庁舎の担当職員と相談はできるが、支所機能はなく、各部署の専門職員を配置することは難しいことから、支所とする考えはない。

【子どもの福祉医療給付金の対象範囲拡大について】

問 現物給付方式とのことだが、受給者証はどのように受け取れるのか。

回答 対象者に送付した申請書を提出いただき、受給者証を発行（送付）する。

問 所得制限はあるのか。

回答 所得制限はない。

問 医療機関等の窓口で支払う本人負担の500円は1回受診するごとに支払うということか。

回答 一月ごと（1レセプト（医療報酬明細書）の発行ごと）となる。

【千曲市犯罪被害者等支援条例（仮称）骨子案に対する意見募集について】

問 県内だと坂城町が既に制定されているが、千曲市としての特色や力を入れた点は。

回答 千曲市として特にといいものはないが、坂城町で端を発した条例制定の動きであり、同じエリアで様々な点で連携・協力していることから、足並みを揃えていきたい。

問 経済的負担については何か考えているか。

回答 今回は骨子案についてのパブリックコメントを募集であり、具体的なことは今後検討する。

問 条例制定のスケジュールは。

回答 11月1日までパブリックコメントを募集した後、条例案を作成し、部長会議、議会委員会への報告、法規審査委員会を経て令和5年3月議会へ上程する予定。

問 被害に遭われた方が、市外から越してこられるケースや外国人は想定しているか。

回答 現時点では、市民等ということで、市民又は市内において事業もしくは活動を行う者としている。

【オミクロン株に対応した新型コロナワクチン接種について】

問 ワクチンのメーカーは。

回答 現時点では市町村に配布されるワクチンは主にファイザー社製で、県は主にモデルナ社製と聞いているが、今後変わる可能性もある。

問 60歳以上で、4回目接種を完了した人も対象となっているが、5回目接種も無料ということでもいいか。

回答 そのとおり。オミクロン株対応ワクチンは国の全額負担で実施すると聞いている。

問 5歳から11歳の接種についての市の考えは。

回答 オミクロン株と同様に、重症化予防と発症予防、感染予防を目的に接種を行うが、努力義務であり、保護者と本人が希望する場合に接種することとしている。

【市政全般について】

問 場外車券場のサテライト信州ちくまがオープンして一年となる。反対がある中でのオープンであったが、市長として受け止めは。

回答 多くの方が心配していた懸念はほとんどなく、平穩無事に営業されていると認識している。市としても、環境整備基金に売り上げの一部を積み立てさせていただいているので、有効に役立てたい。これからも地域との良い関係を築きながら進めていっていただきたいと思っている。

問 先日、屋代南高校を発展させる会総会が開催され、県議会への請願の話があったが、9月県議会に請願する予定はあるか。

回答 地元の県議会議員2人に紹介議員となっただき、9月県議会に請願する予定。

終了 午後2時10分